

訪問看護と介護 第3巻 総目次

1998年(1~12号)

表示は、題名:執筆者名(発言者名)、号数、開始ページ

●特集・特別記事・特別寄稿・小特集

特集 これからの在宅介護支援センター 介護保険の導入を視野に入れて

在宅介護支援センターの課題とこれからの役割:高橋紘士, 1, 3.

[現場からの報告]

サービス利用者の立場を誰が代弁するのか:田村満子, 1, 10.

町立の複合施設併設型支援センターとして:長谷川まり子, 1, 16.

40年の歴史をもつ社会福祉法人の特養併設型支援センターとして:近藤廣子, 1, 23.

地域住民としての在宅介護支援センターになれるか:原 智子, 1, 30.

医療複合体の中核病院を母体とする老健併設型支援センターとして:原口菜公・緒方セイ子, 1, 35.

地域中核病院併設型在宅介護支援センターとして:井上深幸, 1, 40.

特別記事 訪問看護婦に何が求められているか

鼎談/訪問看護婦に何が求められているか 日米での共同調査の結果を踏まえて:Abbott 近藤房恵・村松静子・稲留佳子, 2, 93.

特別記事資料/日本における在宅看護の理想像と教育システムの構想(抜粋), 2, 103.

特集 感染症の予防と管理

感染の考え方と在宅ケアの感染管理:村井貞子, 3, 169.

呼吸器感染症:佐々木英忠・中山勝敏・鎌仲正人・樋口真人, 3, 177.

尿路感染症:西村泰司・阿部裕行, 3, 182.

褥瘡創部の感染:鈴木 定, 3, 189.

聖路加国際病院訪問看護科における在宅での感染管理:押川真喜子, 3, 197.

鼎談/在宅感染管理のこれからの課題:川村佐和子・南谷幹夫・田村ひろみ, 3, 203.

特別記事 第2回要介護認定モデル事業体験速報

座談会/第2回要介護認定モデル事業で介護サービス計画作成に取り組んで:長谷川まり子・鈴木利枝子・宇賀田恵・野口克仁・山口亜幸子・村嶋幸代(司会), 4, 251.

特別寄稿

カナダBC州在宅人工呼吸ケアから学ぶこと 訪じた地域呼吸療養士 Irene Hanley 氏のコメントより:松井和子・荻野潔子, 4, 275.

特集 利用者に満足される「看取りのケア」

アンケート/看取りの看護 全国の訪問看護ステーションの実態調査, 5, 327.

座談会/看取りの看護の課題:川越博美・渡部純子・山田京子・曾我優子, 5, 333.

死と医療をめぐる三題 医療社会史の視点から看取りの文化の変遷を考える:新村 拓, 5, 341.

家族にとっての「死の儀式」:藤井正雄, 5, 345.

インタビュー/葬儀社がいま考えていること (株)公益社 大竹幸浩氏にきく:(聞き手)本誌編集室, 5, 349.

特集 在宅での排泄ケアを見直す

在宅での排泄ケアの留意点:西村かおる, 6, 403.

訪問看護婦、ヘルパーに必要な尿失禁の医学知識:上田朋宏, 6, 411.

ヘルパーの立場から排泄ケアを考える 本人「当事者」にとっての排泄の苦しみ:釜土禮子, 6, 417.

これだけは知っておきたい排便のケア:玉垣 努, 6, 422.

保存版/排泄用具とその適応について:石井賢俊, 6, 429.

保存版/おむつはどう選ぶか:園尾義之, 6, 446.

特集 「対人援助困難」を克服する

「訪問看護とは何なのか」からとらえなおす:藤井賢一郎, 7, 481.

相手を動かす面接技術 対人援助職トレーナー・奥川幸子氏の事例検討会での助言をとおして, 7, 487.

はじめて精神分裂病患者の訪問看護を経験して:角田直枝, 7, 497.

サイコドラマ(心理劇)をとおして訪問看護における対人援助を考える:(取材協力)看護心理劇協会, 7, 502.

事例から考える“看護婦の心理的巻き込まれ”について:佐藤悦子, 7, 508.

“逸説”のすすめ:石田昌宏, 7, 513.

小特集 ちょっと気になる関連他職種 在宅患者訪問薬剤指導・栄養食事指導・歯科衛生指導の現場から

在宅医療における保険薬局の役割と在宅訪問服薬指導の実践:田中 勝, 8, 555.

訪問口腔ケアの実際:牛山京子, 8, 560.

在宅訪問栄養指導に取り組んで15年 在宅における栄養・食事管理の問題とその対応:田中弥生, 8, 568.

特集 病院と連携する

病院と訪問看護ステーション それぞれの対応と現状の問題点:片倉直子・濱尾房子, 9, 627.

病院との連携をどうはかってきたか:池ヶ谷紀子, 9,

632.
病院との連携窓口としての看護相談室:栗原知女, 9, 637.
ケースレポート/引き継ぎ時のトラブルをどのように解決したか:春日信一, 9, 644.
「退院時」と「入院時」における病院との情報のやりとりについて:横田喜久恵, 9, 647.
看護職による保健・医療・福祉間の継続看護システムづくり 日本看護協会「先駆的保健活動交流推進事業」報告:加藤ハマ子, 9, 651.

特集 訪問看護婦のアセスメント能力の向上を目指して 聖ルカ・ライフサイエンス研究所主催セミナーより

特別講演/目まぐるしく変わっていく米国の医療・看護体制:日野原重明, 10, 701.
聖路加国際病院における訪問看護症例の分類と問題点 特に高齢者について:押川真喜子, 10, 706.
訪問看護婦からみたフィジカルアセスメントの留意点:馬庭恭子, 10, 714.
在宅で死を迎えた高齢老人の家族の精神面の変化に対するアセスメント:片山蘭子, 10, 720.

小特集 電話による健康指導と訪問看護

テレコミュニケーション・ナース・スペシャリスト (Telecommunication Nurse Specialist:TNS)の養成を目指して 聖ルカ・ライフサイエンス研究所主催「電話通信による健康指導に関する研究セミナー」より, 11, 775.
テレコミュニケーション・ナースが日本の医療システムに果たす役割:日野原重明, 11, 776.
日本における「いのちの電話」の利用状況と相談員の養成課程について:徳善登世子, 11, 783.
ティーベックにおける24時間電話サービスについて:奈良岡ミツ, 11, 785.
ライフ・プランニング・センターにおける「ナースによる患者・家族への電話相談技法」セミナーについて:石清水由紀子, 11, 787.

特集 介護保険制度導入の向けての課題

インタビュー/住民からの主体的参加を求めて「NO!寝たきりキャンペーン委員会」井上朱美さん, 井上弘子さんに聞く:(聞き手)本誌編集室, 12, 847.
対談/介護保険によって行政サービスはどう変わるのか 東京・品川区にみる都市部での取り組み 新美まり・岡本祐三, 12, 862.
介護保険制度のマネジメントシステム 居宅介護支援・市町村ケアマネジメント・介護サービスマネジメントシステムの構築 筒井孝子, 12, 874.
座談会/はじめての介護支援専門員実務研修受講資格試験が終わって 山崎摩耶・橋本正明・田中雅子・(司会)小山秀夫, 12, 881.

●緊急アンケート

どうする介護支援専門員 全国の訪問看護ステーションと在宅介護支援センターに対応策を聞きました, 7, 546.

●インタビュー

●インタビュー

AIDSの「いま」と在宅ケア 国立国際医療センター/エイズ治療・研究開発センターコーディネーター池田和子氏に聞く, 9, 658.

●トピックス

1998年4月在宅医療・(老人)訪問看護に関連する診療報酬改定のポイント, 4, 268.
第1回介護支援専門員実務研修受講試験おわる, 11, 792.
平成9年度訪問看護統計調査の概況, 11, 825.

●研究・報告

医療的ケアを必要とする要介護者の在宅ケアサービスに関する研究:飯倉修子・北田豊治・野原忠博, 5, 357.
在宅での死の看取りと訪問看護が家族におよぼした精神的影響:谷口豊子・三木 謙・三木 敦, 7, 534.
褥瘡ハイリスク患者における治癒促進の3つのポイント:名取芳子・阿部智子, 7, 539.
訪問看護ステーションの経営調査と今後の課題:内田陽子, 8, 577.
老人の在宅ケアにおける看護技術研究/在宅看護における医療処置の管理に関するプロトコル(試案)の作成[前編]:川村佐和子・数間恵子ほか, 9, 682.
老人の在宅ケアにおける看護技術研究/在宅看護における医療処置の管理に関するプロトコル(試案)の作成[後編]:川村佐和子・数間恵子ほか, 10, 726.
訪問看護充実のための課題と提言:HIT研究会訪問看護検討部会, 10, 735.
HIV患者の看護に関する研究/HIV/AIDS患者に対する在宅医療の現状と課題:石原美和ほか, 11, 795.
痴呆症患者における認知機能障害の評価尺度 Short-Memory Questionnaire(SMQ)の地域医療・保健・福祉活動における利用について:牧徳彦・池田 学・小森憲治郎・田辺敬貴, 12, 889.

●訪問看護に必要な知識とスキル[技術編](長谷川美津子)

- ⑦ 長期気管切開創の管理と気管内吸引法, 1, 46.
- ⑧ 在宅人工呼吸療法(1) 在宅導入時の基礎知識, 3, 214.
- ⑨ 在宅人工呼吸療法(2) 在宅導入時の基礎知識, 5, 365.

●フィジカルアセスメントを学ぼう(箕輪良行)

- ⑪ 神経系の診察(2), 2, 124.
- ⑫ 眼の診察, 4, 287.
- ⑬ 耳の診察, 6, 458.
- ⑭ 急変, 緊急事態の評価と対応, 8, 587.
- ⑮ 四肢・骨格の診察 拘縮, 麻痺, 骨折, 褥瘡, 10, 741.
- ⑯ 女性の泌尿生殖器と乳房, 12, 894.

●知っておきたい医学情報

- ① 非侵襲的人工呼吸療法として QOL の向上が期待できる M/NIPPV:石川悠加, 1, 53.
- ② 気管カニューレの種類と使用上の留意点(1) 気管カニューレの種類:堀口利之・鈴木康司, 2, 135.
- ③ 気管カニューレの種類と使用上の留意点(2) 使用上の留意点:堀口利之・鈴木康司, 3, 219.
- ④ 経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)を用いた栄養管理について [前編]内視鏡的胃瘻造設総論:蟹江治郎, 4, 299.
- ⑤ 経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)を用いた栄養管理について [後編]胃瘻栄養管理のコツ:蟹江治郎, 5, 371.
- ⑥ 在宅血液透析 [前編]:佐々木しのぶ・渡辺美智世・西川栄一郎, 7, 518.
- ⑦ 在宅血液透析 [後編]教育と支援体制:進士弘和, 8, 591.
- ⑧ 在宅中心静脈栄養法(HPN)の管理 基礎編:松末智, 9, 663.
- ⑨ 在宅中心静脈栄養法(HPN)の管理 実施編:松末智, 10, 746.
- ⑩ 在宅ホスピスケアにおける痛みのコントロール [前編]在宅ホスピスケアに必要な基礎知識:小笠原一夫, 11, 807.
- ⑪ 在宅ホスピスケアにおける痛みのコントロール [後編]実践上の留意点と看護の役割:小笠原一夫, 12, 898.

●在宅ケアプランの立て方とケア提供の実際 水口町保健センターの実践から

- ① チームケアを円滑に推進する具体的方法:堀井とよみ, 1, 60.
- ② 情報収集について:小谷直子, 2, 153.
- ③ アセスメントとケアプランの作成について:小谷直子, 3, 231.
- ④ 24時間巡回型ヘルプサービスについて:杉本春子, 4, 308.
- ⑤ 看護者が提供するべき技術とは:奥村啓子, 5, 381.
- ⑥ 自立支援のあり方:奥村啓子, 6, 466.

●訪問看護ステーション経営 A to Z(小山秀夫)

- ⑯ ステーションの戦略的経営 Strategic Management, 1, 73.
- ⑳ ステーションの目標 Target, 2, 128.
- ㉑ ステーションの利用者管理 User Management, 3, 223.
- ㉒ ステーションのベンチャービジネス Venture Business, 4, 290.
- ㉓ ステーションの職場慣行 Work Rules, 6, 462.
- ㉔ ステーションの転換日 X-day, 8, 598.
- ㉕ ステーションの情報検索 Yahoo, 9, 669.
- ㉖ ステーションの試行錯誤 Zig-zag, 10, 754.

●比較介護論 デンマークのホームケア(村嶋幸代)

- ④ ナースとヘルパーの関係 組織のあり方と役割

関係, 1, 66.

- ⑤ ナースの仕事:村嶋幸代, 2, 146.
- ⑥ 県の保健看護婦の仕事と予防への取り組み, 3, 227.
- ⑦ 地域ケアと施設ケアの融合, 4, 294.
- ⑧ 再び予防について ケア提供者側の安全の確保と、ヘルシーショップの活動, 8, 606.
- ⑨ ケアに関する予算と人員配置, 9, 673.
- ⑩ 利用者・高齢者の声を反映する仕組み 政治家による年2回のヒアリングと地区高齢者委員会, 10, 758.
- ⑪ 経営感覚にすぐれた福祉のリーダーたち, 11, 815.

●在宅看護論の実習(川村佐和子)

- ⑥ 実習指導の実践, 2, 132.
- ⑦ 在宅看護における感染予防, 7, 525.
- ⑧ 在宅看護と機器の安全な使用, 8, 602.
- ⑨ 在宅看護と看護倫理, 10, 751.
- ⑩ 在宅看護技術の開示, 11, 812.
- ⑪ 在宅看護における標準化マニュアルの意義, 12, 904.

●補助具の選び方(丸山武彦)

- ① 補助用具の選定事始め, 2, 141.
- ② ベッドの選定, 3, 236.
- ③ 褥瘡用具の選択, 4, 317.
- ④ 排泄用具(オムツ・パッド)の選び方, 5, 385.
- ⑤ 排泄用具(ポータブルトイレ)の選定, 6, 471.
- ⑥ 日本製・デンマーク製ベッドの比較とマットの選定, 7, 529.
- ⑦ 入浴関連用具の選定, 8, 610.
- ⑧ 歩行補助用具(歩行器・歩行車)の種類と選定, 9, 679.
- ⑨ 車椅子の選定 [前編]選定に入る前に, 10, 762.
- ⑩ 車椅子の選定 [後編]座位保持の仕方を中心に, 11, 821.
- ⑪ トランスファーサポート用具, 12, 908.

●米国短報(Scott 渡辺由佳里)

ケアの質向上のための必要条件, 1, 88.
自己責任の国と保険制度 米国と欧州との決定的な違い, 2, 166.
人生のリスクと保険加入 精神的+経済的打撃を考える, 3, 246.
在宅ケア産業への逆風と利用者, 4, 322.
長期ケア保険をどう選ぶか(1) 情報収集と選択の留意点, 5, 398.
長期ケア保険をどう選ぶか(2) スポック博士もつまずいた保険選びの難しさ, 6, 476.
長期ケア保険をどう選ぶか(3) “削減”に問われる個人の価値観, 7, 550.
米国社会にみる富と“肥満”の偏在, 8, 616.
ブームにみる米国文化, 9, 696.
代替医療の分野にも競争の影 追われる立場のカイロプラクティックは..., 10, 768.

Alternative Medicine は米国に根づけるか, 11, 842.
こころの時代の風景, 12, 926.

●管理者の悩み解決し隊 管理者を楽しむために

- ② 就業規則のつくり方, ボーナスの査定, 1, 82.
- ③ スタッフの選び方/副所長に期待するもの, 2, 160.
- ④ スタッフの反発/管理者の資質, 3, 241.

●老いの円還みちるべ お年寄りの顔がほころぶ 「もの・うた・とき・ひと」話(米沢 慧)

- ① リンゴの歌 敗戦直後に流行した歌, 7, 544.
- ② 尺貫法モノサシ, 8, 614.
- ③ 君の名は一ラジオの黄金時代, 9, 694.
- ④ サイタ, サイタのサクラ讀本 小學國語讀本, 10, 766.
- ⑤ 赤とんぼ一子守歌の情景, 11, 840.
- ⑥ 即席ラーメンーインスタント食品, 12, 924.

●老人虐待 米国からの報告(江原勝幸)

- ⑤ チームアプローチの必要性和その課題, 1, 77.

●3回連続講座 アロマセラピー入門(川端一永)

- ① 誤認されているアロマセラピー, 12, 915.

●訪問看護婦のつぶやき

患者・家族に育てられて:東広島地区医師会賀茂台地
訪問看護ステーション, 6, 388.

●ニュース

訪問看護にもすすむ看護師の就労, 5, 396.

日本開業専門看護協会(JANP)1998年総会/討論会開
かれる, 8, 618.

聖ルカ・ライフサイエンス研究所研究事業「在宅ケア
への医師・ナースによる電話通信の効果と問題点」を
テーマに開催, 12, 873.

●新刊紹介

在宅酸素療法 評者:飛田 渉, 1, 81.

在宅看護論 評者:川越博美, 2, 159.

看護診断にもとづく在宅看護ケアプラン 評者:村
松静子, 4, 267.

ケアマネジャー実践ガイド 評者:清崎由美子, 4,
274.

予防医学のストラテジー 評者:高原亮治, 5, 370.

怒れる保健婦足立紀子の看護・介護の仕事論 評
者:秋野恵美子, 6, 465.

動作をみる介護 評者:窪田静, 7, 533.

夢にかけた男たちーある地域リハの軌跡 評者:山
崎摩耶, 8, 586.

訪問看護ー現場からのQ&A 評者:石田しげ子, 8,
620.

ケアマネジャー・マニュアル, 9, 657.

在宅高齢者のためのメンタルヘルスケア 評者:是
枝祥子, 10, 770.

よりそってケアー痴呆老人とともに 評者:細井恵
美子, 11, 820.

看護記録をマスターする 評者:川越博美, 12, 907.

〈生きいきケア選書〉もっとアドリブケア 評者:臼
井孝子, 12, 914.

「終のすみか」は有料老人ホーム, 12, 928.

お知らせ/INFORMATION/お知らせ/INFORMATION/お知らせ

第12回全国地域 リハビリテーション研修会

テーマ 介護保険制度の導入と維持期リ
ハビリテーションのあり方:高齢期の生
活障害を支えるために

●プログラム

第1日目 3月27日(土)

基調講演Ⅰ 維持期リハビリテーション
と機能訓練事業について 山本隆(厚生
省老人保健課課長補佐)

基調講演Ⅱ 介護保険制度を基盤とした
地域ケアの実践 浜村明徳(南小倉病院
院長)

シンポジウムⅠ 高齢期の生活障害を支
えるために

シンポジスト:斉藤正身(霞ヶ関南病院院
長/森村安史(仁明会病院理事長)/山崎摩
耶(日本訪問看護振興財団常務理事)/吉
川和徳(板橋区おとしより保健福祉セン
ター理学療法士)/村井千賀(石川県南加

賀保健所作業療法士)

イブニングセミナー ノーマライゼー
ションを地域に生かすために 山本和儀
(大東地域リハビリテーション研究所所
長)

懇親会 郡山ビューホテルアネックス
会費 5,000円

第2日目 3月28日(日)

特別講演Ⅰ “共に生きる”意味を探る:
病者・障害者・高齢者は社会のお荷物か?
大田仁史(茨城県立医療大学付属病院院
長)

特別講演Ⅱ 保健・医療・福祉の新しい
時代の幕開け 澤村誠志(兵庫県立総合
リハビリテーションセンター所長)

シンポジウムⅡ 福井県における維持期
リハビリテーションの今後の課題

シンポジスト:安藤洋康(福島県高齢者
保健福祉課課長)/原寿夫(原内科医院院
長)/島野光正(星ヶ丘在宅介護支援セン
ター主任介護相談員)/永田則子(シル

バー専科日和看護婦長)/渡部真理子(福
島県立中央医療生活協同組合地域リハビ
リテーション部作業療法士)

参加費 一般 5,000円(福島県内から
の参加者は3,000円) 学生 1,500円

□申込み・問い合わせ先

第12回全国地域リハビリテーション研
修会事務局(事務局長)阿部雄彦

(財)太田総合病院附属太田西ノ内病院リ
ハビリテーション科

〒963-8022 福島県郡山市西ノ内2-5-20
TEL 0249-25-1188

FAX 0249-25-7791

宿泊等の問い合わせ先 JTBトラペラ
ンド 郡山イトーヨーカドー店

〒963-8022 郡山市西ノ内2-11-40 担
当 増子・熊坂

TEL 0249-39-3090

FAX 0249-39-3089